

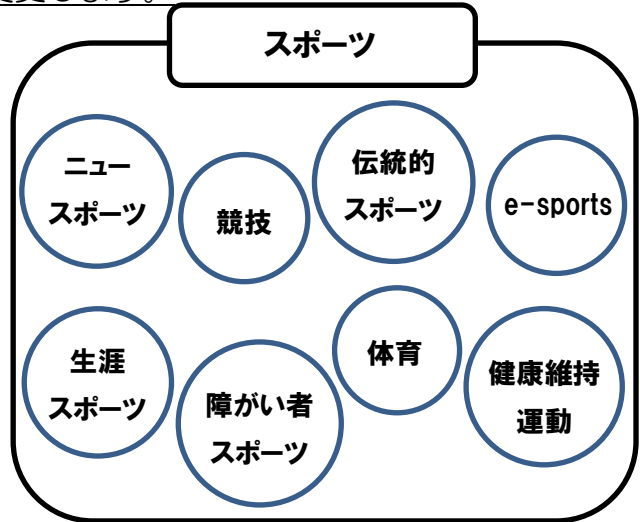
～お知らせ～

標津町体育協会が「標津町スポーツ協会」へ

昭和35年に創立し、今年で58年の歴史を有する「標津町体育協会」が、平成31年4月より「標津町スポーツ協会」へ名称を変更します。

<経緯>

今まで「体育」とは、身体的教育や「スポーツ」を含む広い意味での解釈が一般的でした。しかし、昭和39年に開催された東京オリンピック以降、「スポーツ」が広く人々や社会に浸透し発展したことにより、「スポーツ」に対する人々の関心が高まり、「体育」と「スポーツ」の捉え方が変わってきました。



このことから、「スポーツの推進・振興、市民の健康・体力づくりとコミュニケーションの推進による豊かな地域づくり」を目的に事業を進めていく上で、「体育」では包括することのできないスポーツ・運動にも目を向け、標津町140年の節目の年に、先人の功績を次代に引き継ぎ新たな歴史を築くため「標津町スポーツ協会」と名称を変更します。

(参考)

- ・日本体育協会は、平成30年4月に「日本スポーツ協会」に改称
- ・北海道体育協会は、平成31年4月に「北海道スポーツ協会」に改称
- ・根室管内体育協会連絡協議会は、平成31年4月に「根室管内スポーツ協会連絡協議会」に改称

『健康づくりは昔の知恵を生かす事が大切』

身土不二 しんどふじ : 人間の身体と土地は切り離せない関係にあるということ

その土地でその季節にとれたものを食べるのが健康に良いという考え方

現代生活の中で、私たちは「自分の体が自然界と繋がっている」ことを忘れてしまったと指摘されるようになってきました。

そんな今だからこそ、昔ながらの「知恵」を知ることから始めましょう。

<知恵>

ハコベを揉んで患部にあて冷やす・熱と痛みをとる

キャベツの葉は熱をとる・火傷をしたらキャベツの葉を患部につける

